

みずほCustomer Desk Report 2021/08/16 号 (As of 2021/08/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.47
TKY 9:00AM	110.41	1.1736	129.57	1.3809	0.7341
SYD-NY High	110.46	1.1804	129.67	1.3875	0.7381
SYD-NY Low	109.55	1.1730	129.24	1.3791	0.7330
NY 5:00 PM	109.61	1.1794	129.29	1.3868	0.7377
NY DOW	35,515.38	15.53	日本2年債	-0.1400	▲1.00bp
NASDAQ	14,822.90	6.64	日本10年債	0.0200	0.00bp
S&P	4,468.00	7.17	米国2年債	0.2081	▲1.56bp
日経平均	27,977.15	▲37.87	米国5年債	0.7755	▲5.15bp
TOPIX	1,956.39	2.84	米国10年債	1.2826	▲7.73bp
シカゴ日経先物	27,915.00	▲165.00	独10年債	-0.4650	▲0.25bp
ロンドンFT	7,218.71	25.48	英10年債	0.5725	▲3.00bp
DAX	15,977.44	39.93	豪10年債	1.2160	2.00bp
ハンセン指数	26,391.62	▲126.20	USDJPY 1M Vol	5.14	0.07%
上海総合	3,516.30	▲8.44	USDJPY 3M Vol	5.53	0.05%
NY金	1,778.20	26.40	USDJPY 6M Vol	5.78	0.05%
WTI	68.44	▲0.65	USDJPY 1M 25RR	-0.29	Yen Call Over
CRB指数	216.96	0.00	EURJPY 3M Vol	5.60	0.02%
ドルインデックス	92.52	▲0.52	EURJPY 6M Vol	5.93	0.09%

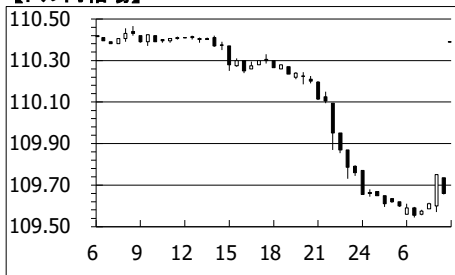
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月13日	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	8月 70.2	81.2

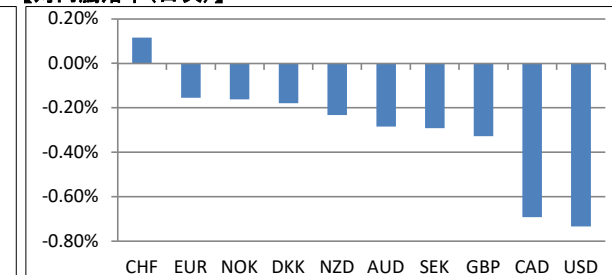
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月16日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	2Q 0.1%	-1.0%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	2Q 0.5%	-3.9%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	2Q P -0.9%	-0.1%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	7月 10.9%	12.1%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	7月 7.9%	8.3%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	8月 28.5	43.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.10-110.10	1.1750-1.1850	129.00-130.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は、米国時間に109円台に下落した。米8月ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想81.2に対し70.2と大きく市場予想を下回り、約10年ぶりの低水準となったことでドル売り優勢となった。ドル円は米金利の低下とともに109.55まで下落した。

本日のドル円は上値の重い動きを予想する。ミシガン大学消費者信頼感指数は通常あまり材料視されないが、このところ米経済指標は強い結果が多かったため、サプライズ感を持って受け止められた。今後の指標に懸念が強まる中、ドル円は上値の重い動きとなりそうだ。

アジア	東京時間のドル円は110.41レベルでオープン。特段材料がない中、動意乏しい展開。9銭の狭いレンジで推移し、110.37レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は110.37レベルでオープン。オープン直後に下落した米長期金利につられドル円も値を下げ110.23レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1738レベルでオープン。欧州株が底堅く推移した事を背景にリスクオンに、1.1760レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は110.40付近で動意乏しく推移するが、欧州時間に入ると米金利低下や欧州通貨がドルに対して買い戻される動きが重しとなり、110.21まで下落後、110.23レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、上値の重い推移が継続。その後、10時発表の8月分のシカゴ大学消費者マインド指数が市場予想を大幅に下回ると米金利の低下とともにドル売りが加速し、110円を割り込み109.70付近まで下落。午後は米長期金利が明確に1.3%を割り込む中、ドル円は午前中の下落分を取り戻す気配もなく、じり安推移が継続。終盤に安値を109.55まで更新し、結局、109.61レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.1740付近で方向感に欠いた展開でスタートするが、欧州勢参入とともにユーロやポンド等の欧州通貨の買い戻しが強まったことから1.1763まで上昇し、1.1760レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、ユーロの買い戻しが優勢となる。予想以上に弱い米経済指標の結果や米金利の低下を受けてドル売りが強まると、一週間ぶりに1.18台を回復し、高値1.1804をつける。午後は週末ムードが広がる中、高値圏で方向感無く推移し、1.1794レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。